



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年8月4日

上場会社名 株式会社ジャパンエンジンコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6016 URL <https://www.j-eng.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川島 健
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 柴田 健 TEL 078-949-0800
 四半期報告書提出予定日 2022年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,226	47.5	97	△46.2	120	△32.0	114	△31.0
2022年3月期第1四半期	2,865	14.2	180	110.4	177	121.3	166	220.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	41.14	—
2022年3月期第1四半期	59.60	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	17,243	6,606	38.3
2022年3月期	17,438	6,553	37.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 6,606百万円 2022年3月期 6,553百万円

当社は、連結子会社であったシンバツサンライズ株式会社を2022年4月1日付で吸収合併したため、当事業年度から連結財務諸表を作成していません。そのため、本決算短信（2023年3月期第1四半期）における当期の経営成績及び財政状態については、すべて当社の財務諸表に基づく開示を行っております。これに伴い、本決算短信における前年同四半期の経営成績及び前期の財政状態についても、期間比較可能性の観点から当社の財務諸表に基づいて開示しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	6.4	190	△66.4	470	△21.9	555	2.8	198.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社では年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	2,800,000株	2022年3月期	2,800,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	5,020株	2022年3月期	5,020株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	2,794,980株	2022年3月期1Q	2,795,043株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
3. その他	6
(1) 販売及び受注の状況	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、連結子会社であったシンバツサンライズ株式会社を2022年4月1日付で吸収合併したため、当事業年度から連結財務諸表を作成していません。そのため、本決算短信（2023年3月期第1四半期）における当期の経営成績及び財政状態については、すべて当社の財務諸表に基づく開示を行っております。これに伴い、本決算短信における前年同四半期の経営成績及び前期の財政状態についても、期間比較可能性の観点から当社の財務諸表に基づいて開示しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも経済活動の再開が進み、個人消費の回復などで、景気は緩やかに持ち直す動きが見られました。一方で、感染再拡大、資源・エネルギー価格の高騰や物価の上昇、欧米での金融引き締め、中国でのロックダウンを伴うゼロコロナ政策など、景気下振れのリスクも大きく、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当社と関連性が高いわが国海運・造船業界は、海運業界では、足元では市況は概して底堅く堅調に推移しており、また、造船業界では、船舶需給の引き締めなどを受けて、新造船商談の成約が進んだことで、造船各社の受注量は増加しております。

このような状況下、当社は、LSH型を中心とした最新鋭省エネ主機関の拡販や、環境規制対応メニューの充実によるアフターサービス事業の伸長、ライセンス事業でのグローバル展開強化などを梃子に、事業の持続的な発展を目指して、売上高の拡大と、収益力の強化に努めております。

当第1四半期の売上高は、主機関で、販売台数の増加に加えて、窒素酸化物3次規制（NOxTierⅢ）に対応する環境対応設備（EGR/SCR）の搭載が増加して、2,625百万円となり、前年同四半期比1,487百万円（130.8%）の増収となりました。修理・部品等では、アフターサービス事業で大口特需案件の減少もありましたが、ライセンス事業では海外ライセンシーで生産が本格化したことを受けてロイヤリティー収入および部品供給の売上も漸増したことで、合計では1,600百万円となり、前年同四半期比では127百万円（7.4%）の減収にとどまりました。この結果、売上高全体としては、4,226百万円となり、前年同四半期比1,360百万円（47.5%）の増収となりました。

損益面では、主機関では、生産台数の増加で工場操業が引き続き高位で安定しており、同型エンジンの連続生産などの工程最適化に継続して取り組むことで生産性が改善、また、好採算の輸出案件を計上したことも損益改善に繋がりました。一方で、修理・部品等では、アフターサービス事業での特需減少分の影響があり、また、ライセンス事業で、当四半期は海外新規ライセンシーの立ち上がり支援費用が先行して発生したことから、営業利益は97百万円となり、前年同四半期比では83百万円（46.2%）の減益となりました。なお、ライセンシーで受注・内定済の当社ライセンスエンジンについては、本年度の下半期から生産量を急拡大させる計画であり、当社は、これに伴うロイヤリティー収入や部品供給事業の更なる拡大を見込んでおります。

経常利益では、アンモニア・水素燃料エンジンの開発進捗でグリーンイノベーション基金事業から交付金を受け取り、営業外収益に計上したことで、120百万円となり、前年同四半期比56百万円（32.0%）の減益、四半期純利益は114百万円となり、前年同四半期比51百万円（31.0%）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前事業年度末に比べ0.4%減少し、13,323百万円となりました。これは主として現金及び預金が418百万円減少、受取手形及び売掛金が954百万円増加、電子記録債権が85百万円減少、製品が896百万円減少、仕掛品が420百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ3.4%減少し、3,919百万円となりました。これは主として有形固定資産が68百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ1.1%減少し、17,243百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ2.0%減少し、8,466百万円となりました。これは主としてその他流動負債が222百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ3.4%減少し、2,170百万円となりました。これは主として長期借入金が55百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ2.3%減少し、10,637百万円となりました。

純資産合計は、前事業年度末に比べ0.8%増加し、6,606百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期通期の業績予想に変更はありません。なお、新型コロナウイルス関連等を含め当社の業績に変動を与える各種事象が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,087,818	3,668,950
受取手形及び売掛金	3,166,194	4,120,622
電子記録債権	555,029	469,250
製品	1,576,455	679,930
仕掛品	2,197,301	2,618,020
原材料及び貯蔵品	1,656,387	1,637,604
その他	144,607	131,899
貸倒引当金	△1,641	△2,438
流動資産合計	13,382,153	13,323,840
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,987,655	1,971,439
その他（純額）	1,224,224	1,171,502
有形固定資産合計	3,211,879	3,142,941
無形固定資産		
	143,101	127,026
投資その他の資産		
その他	703,373	652,070
貸倒引当金	△2,392	△2,392
投資その他の資産合計	700,980	649,677
固定資産合計	4,055,961	3,919,646
資産合計	17,438,115	17,243,486

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,343,028	1,216,842
電子記録債務	2,325,093	2,489,493
1年内返済予定の長期借入金	1,782,992	1,782,992
未払法人税等	90,882	23,016
賞与引当金	153,501	80,889
製品保証引当金	86,126	101,305
受注損失引当金	973,000	1,112,000
その他	1,882,592	1,660,380
流動負債合計	8,637,216	8,466,919
固定負債		
長期借入金	1,552,100	1,496,352
退職給付引当金	205,858	207,352
資産除去債務	89,068	89,157
その他	400,165	377,470
固定負債合計	2,247,191	2,170,331
負債合計	10,884,408	10,637,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,215,000	2,215,000
資本剰余金	1,709,750	1,709,750
利益剰余金	2,643,229	2,724,668
自己株式	△8,111	△8,111
株主資本合計	6,559,867	6,641,306
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,234	38,697
繰延ヘッジ損益	△37,394	△73,768
評価・換算差額等合計	△6,160	△35,070
純資産合計	6,553,707	6,606,235
負債純資産合計	17,438,115	17,243,486

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,865,442	4,226,248
売上原価	2,152,699	3,541,841
売上総利益	712,743	684,406
販売費及び一般管理費	532,025	587,100
営業利益	180,718	97,306
営業外収益		
受取配当金	2,544	2,469
補助金収入	—	38,811
その他	941	2,751
営業外収益合計	3,486	44,032
営業外費用		
支払利息	6,482	5,429
為替差損	—	14,496
その他	537	890
営業外費用合計	7,019	20,816
経常利益	177,185	120,521
特別利益		
固定資産売却益	43	—
抱合せ株式消滅差益	—	76,412
その他	0	—
特別利益合計	43	76,412
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前四半期純利益	177,228	196,934
法人税、住民税及び事業税	40,710	22,473
法人税等調整額	△30,059	59,482
法人税等合計	10,650	81,956
四半期純利益	166,577	114,978

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症による当社事業への影響に関する仮定について重要な変更はありません。

3. その他

(1) 販売及び受注の状況

当社の事業は、船用内燃機関及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、販売及び受注の状況については、事業区分別に記載しております。

なお、2023年3月期第1四半期より個別業績を表示しておりますため、前年同期間についても個別業績(参考値)に記載しております。

① 販売状況

当第1四半期累計期間における販売実績を事業区分別に示すと、以下のとおりであります。

(単位：千円、千円未満切捨て)

事業区分	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		(参考)	
	自 2021年 4月 1日 至 2021年 6月30日		自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日		(2022年3月期)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
船用内燃機関	1,137,340	39.7	2,625,332	62.1	6,430,413	48.9
修理・部品	1,728,102	60.3	1,600,916	37.9	6,727,160	51.1
合計	2,865,442	100.0	4,226,248	100.0	13,157,574	100.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

② 受注状況

当第1四半期累計期間における受注実績を事業区分別に示すと、以下のとおりであります。

(単位：千円、千円未満切捨て)

事業区分	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		(参考)	
	自 2021年 4月 1日 至 2021年 6月30日		自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日		(2022年3月期)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
受注高						
船用内燃機関	768,940	32.0	1,596,609	40.2	5,190,737	39.1
修理・部品	1,634,751	68.0	2,373,900	59.8	8,076,724	60.9
合計	2,403,691	100.0	3,970,509	100.0	13,267,461	100.0
受注残高						
船用内燃機関	8,325,600	88.6	6,484,076	66.4	7,512,799	75.0
修理・部品	1,066,180	11.4	3,282,079	33.6	2,509,095	25.0
合計	9,391,780	100.0	9,766,155	100.0	10,021,894	100.0

(注) 1. 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 受注高は期間中の受注高によっております。また、受注残高は期間末日時点での受注残高によっております。